

# KENWOOD

MDレシーバー

## RX-670MD

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド  
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9  
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）  
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。



この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

© B64-1696-00 (JW)

# RX COMPONENT SOUND SYSTEM RX-670MD

## ● この取扱説明書の読み方

● 機能の名称が書いてあります。

### パワーオン

電源を入れる



SRCボタンを押す。

MEMO ▶ すべての操作は電源オン中に行ってください。

● 機能の簡単な説明が書いてあります。

● 操作に関する補足説明が書いてあります。



ボタンを押し、すぐに手を離します。



ボタンを1秒以上、または2秒以上押し続けます。

MEMO ▶ 本取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはあり得ない表示パターンが記載されていることがあります。

# CONTENTS

## ▲ 安全上のご注意

この取扱説明書の読み方

2

安全上のご注意

4

使用上のご注意

6

## ▲ 操作のしかた

### ALL MODE

パワーオン、パワーオフ、ボリューム、アッテネーター、モードチェンジ、ラウドネス..... 8

オーディオコントロール、スピーカーマッチング..... 10

トラフィックインフォメーション、

トラフィックインフォメーションボリューム、メニューモード..... 12

ビープ音、時計調整、日付設定..... 14

カレンダーメモ、カレンダーメモスクロール..... 16

コントラスト調整、グラフィック設定、

dB選択機能設定、スクロールモード設定..... 18

### MD/DISC CONTROL MODE

ディスプレイ、イジェクト、エクストラディスプレイ、

早送り/早戻し、トラックサーチ、ディスクサーチ..... 20

リピートプレイ、トラックスキャンプレイ、

ディスクスキャンプレイ、トラックランダムプレイ..... 22

マガジンランダムプレイ、ディスプレイ切り替え

タイトルスクロール..... 24

### TUNER MODE

チューニングモード、チューニング..... 26

マニュアルメモリー、オートメモリー、

モノラル受信..... 28

ローカル受信設定、ディスプレイ切り替え..... 30

### NAME SET

取り付け上のご注意

34

接続・取り付けかた

36

故障かな?と思ったら

38

保証とアフターサービス

42

仕様一覧

43

ALL MODE

MD/DISC MODE

TUNER MODE

NAME SET

ご使用の皆様へ

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため  
「安全上のご注意」をご使用の前に  
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

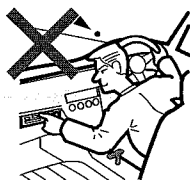
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 警告



実施

運転者が音量調節などのカーオーディオの操作するときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行なってください。



実施

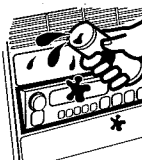
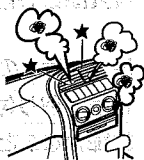
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- 水がかかった
- 異物が入った
- 煙が出る
- 変な匂いがする

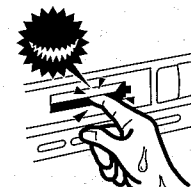


## 注意



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



実施

液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼす恐れがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。



禁止

本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

# 使用上のご注意

## 本機に接続できるオプションについて

KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C30, KMD-C80, RD-350, およびRD-360は直接接続することができます。

KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30, RD-350およびRD-360を接続した場合、これらの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。なお、上記中のディスクチェンジャー以外はCDテキスト/MDタイトルの表示はできません。

ディスクチェンジャーを2台、またはディスクチェンジャーとCDプレーヤーを接続する場合は、オートチェンジャー切換ユニットKCA-S210Aが必要です。接続等詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50、またはKDC-C55を接続するときは、別売品の“CA-DS100”が必要です。別途お問い合わせください。また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の“CA-KD20”が必要です。別途お問い合わせください。なお、“CA-DS100”または“CA-KD20”を使いディスクチェンジャーを接続した場合には、使用できない機能（マガジンランダムなど）が発生します。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、CDプレーヤーおよび他社製のディスクチェンジャー、ディスクプレーヤーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能が異なる場合があります。

## 取り付け時の注意

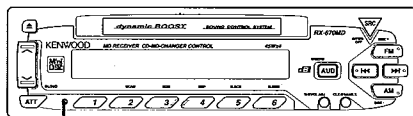
直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。



リセットボタン

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときは本機のリセットボタンを押してください。

## 結露について

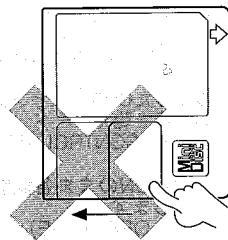
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内面に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDの読み取りができなくなります。このようなときは、MDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。

## ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せないなど故障の原因となります。

## MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分に指が触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

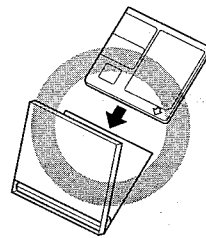


## MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。（お手入れの際、シャッターを開かないようご注意ください。）

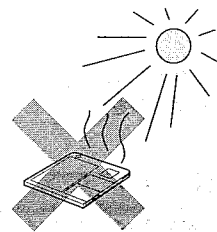
## 保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



## 高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



## データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

## レンズクリーナーについて

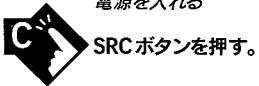
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

# ALL MODE 共通機能

ALL MODE

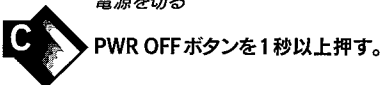
## パワーオン

電源を入れる



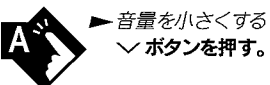
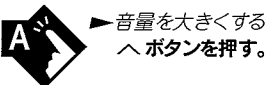
## パワーオフ

電源を切る



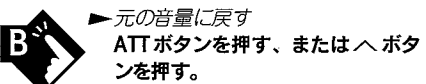
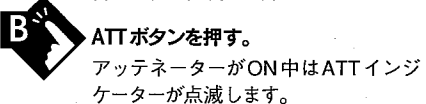
## ボリューム

音量を調整する



## アッテネーター

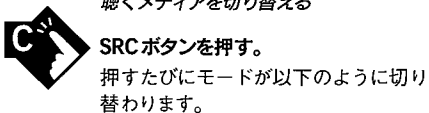
音量をすばやく小さくする



MEMO ▶ 音量を“00”すると、アッテネーターは解除されます。

## モードチェンジ

聴くメディアを切り替える

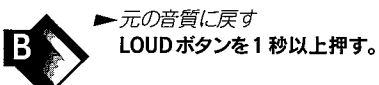
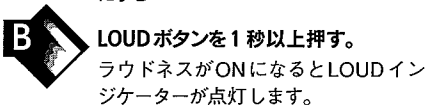


- ▼ TUNER : FM/AM放送を聴くモード (TUNER MODE)
- ▼ MD : MD演奏を聴くモード (MD MODE)
- ▼ CD : 接続したCDプレーヤーの演奏を聴くモード (DISC CONTROL MODE)
- ▼ DISC : 接続したCD/MDチェンジャーの演奏を聴くモード (DISC CONTROL MODE)
- ▼ ALL OFF : 電源がONのまま各機能が停止します。 (ALL OFF MODE)

MEMO ▶ 別売品のCD/MDスイッチングユニット KCA-S210Aを接続している場合は“AUX”を選択することが可能です。また“AUX”の文字を任意に変更することができます。変更のしかたは32ページをご覧ください。

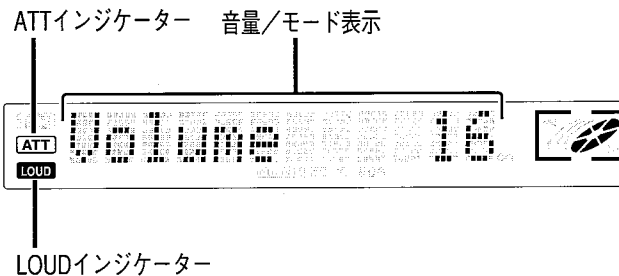
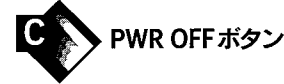
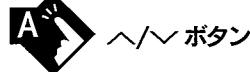
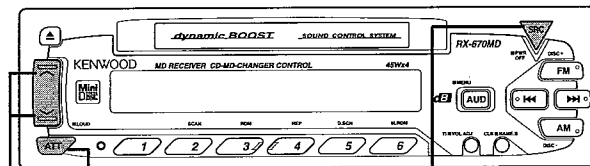
## ラウドネス

低音/高音を補正してメリハリのある音質にする



MEMO ▶ チューナーの音声は低音のみの補正になります。

RX コンポーネント



RX-670MD

# ALL MODE 共通機能

## オーディオコントロール

音質や音量バランスを調整する



1. AUD ボタンを押す。  
オーディオコントロールモードになります。



2. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。  
押すたびに調整できるモードが以下のように切り替わります。

**dB** : ダイナミックブースト  
▼ 選択モード

**Bass** : 低音調整モード  
▼ (調整範囲: -8~+8)

**Treble** : 高音調整モード  
▼ (調整範囲: -8~+8)

**Balance** : 左右音量バランス調整モード  
▼ (調整範囲: L[左]15~R[右]15)

**Fader** : 前後音量バランス調整モード  
(調整範囲: R[後]15~F[前]15)

**V OFFSET** : ソース間のレベル差調整モード  
(調整範囲: -8~0)



▶ **ダイナミック・ブースト**を選択する  
メモリーボタンの1~6を押す。

押すボタンによりあらかじめメモリーされているジャンル別の音質が呼び出されます。

- メモリーボタン1 : Flat
- メモリーボタン2 : Rock
- メモリーボタン3 : Pops
- メモリーボタン4 : Jazz
- メモリーボタン5 : Easy
- メモリーボタン6 : Scan

**MEMO** ▶ メニュー項目のdB 選択機能の設定 (18ページ) でOFF になっている場合は選択できません。  
▶ Scan は Flat、Rock、Pops、Jazz、Easy の音質を順に切り替えます。



▶ **Bass/Treble/Balance/Fader** の調整をする  
◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。  
それぞれのモードを調整できます。



▶ **V OFFSET** を調整する  
◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。  
音量レベルの低いソースを基準にして、他のソースレベルを合わせます。



▶ **オーディオコントロール**を解除する  
AUD ボタンを押す。

**MEMO** ▶ ダイナミックブーストや低音/高音の設定は、それぞれのソースモードごとにメモリーします。  
▶ 低音/高音の調整をすると、ダイナミックブーストの設定は解除されます。

## スピーカーマッチング

メモリーされているダイナミックブーストの特性を単音のスピーカーに合わせる



1. SRC ボタンを押して ALL OFF MODE にする。



2. AUD ボタンを押す。  
スピーカマッチングモードになります。



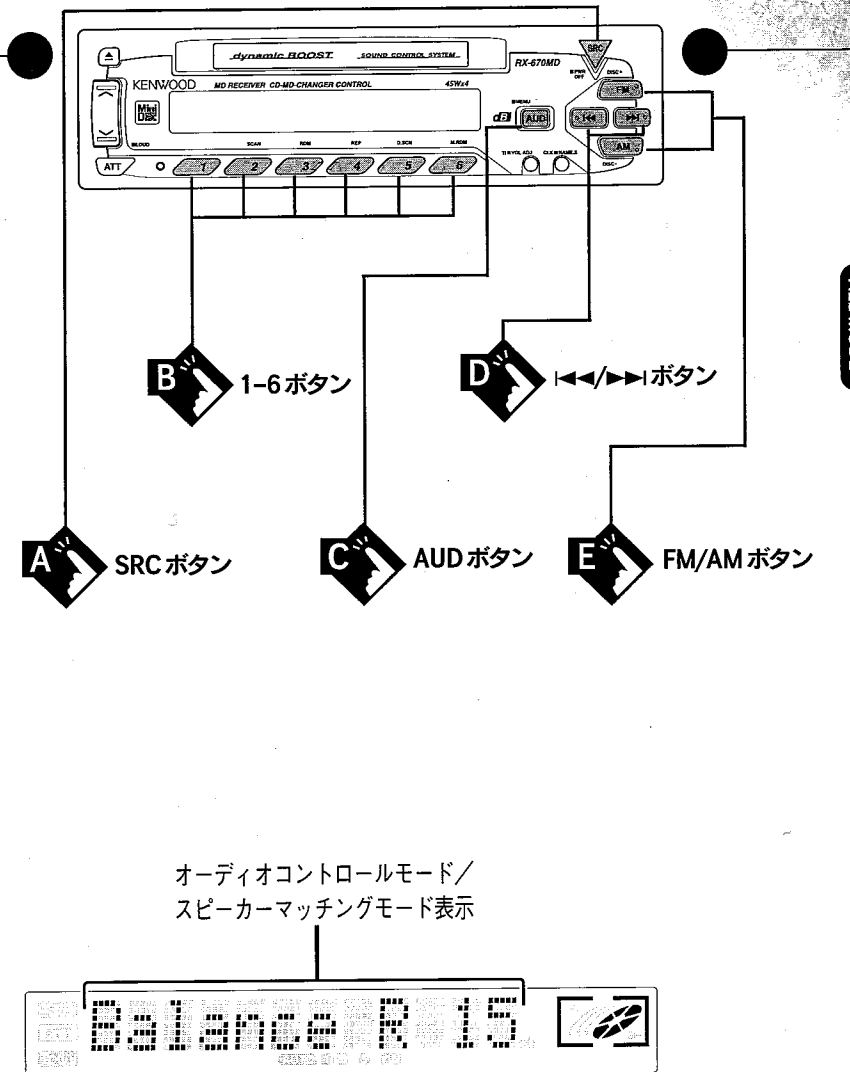
3. ◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。  
押すたびに設定が以下のように切り替わります。

- OFF : 標準的なスピーカーに合わせた設定
- OEM : 周波数帯域が狭いスピーカーに合わせた設定
- 6/6X9 : 低音域がよくでる大型スピーカーに合わせた設定
- 5/4 : 低音域があまりでない小型スピーカーに合わせた設定



4. AUD ボタンを押す。  
スピーカマッチングモードが終了します。

**MEMO** ▶ メニュー項目のdB 選択機能の設定 (18ページ) でOFF になっている場合は選択できません。  
▶ スピーカマッチング設定を切り替えると、ダイナミックブースト設定は解除されます。



# ALL MODE 共通機能

## トラフィックインフォメーション

交通情報を聞く

**B** TIボタンを押す。  
交通情報局を受信します。  
トラフィックインフォメーションがONのときはTIインジケータが点灯します。

**C** 周波数を変更する  
◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。  
1620kHz、1629kHz、522kHzの周波数が選択できます。

**B** 解除する  
TIボタンを押す。

## トラフィックインフォメーションボリューム

交通情報受信中の音量を設定する

1. トラフィックインフォメーションをONにして、設定したい音量にする。

**B** 2. VOL ADJ ボタンを2秒以上押す。  
設定されると音量表示が1回点滅します。  
次回からトラフィックインフォメーションモードにすると、自動的に、この設定した音量になります。

## メニューモード

初期状態を設定する

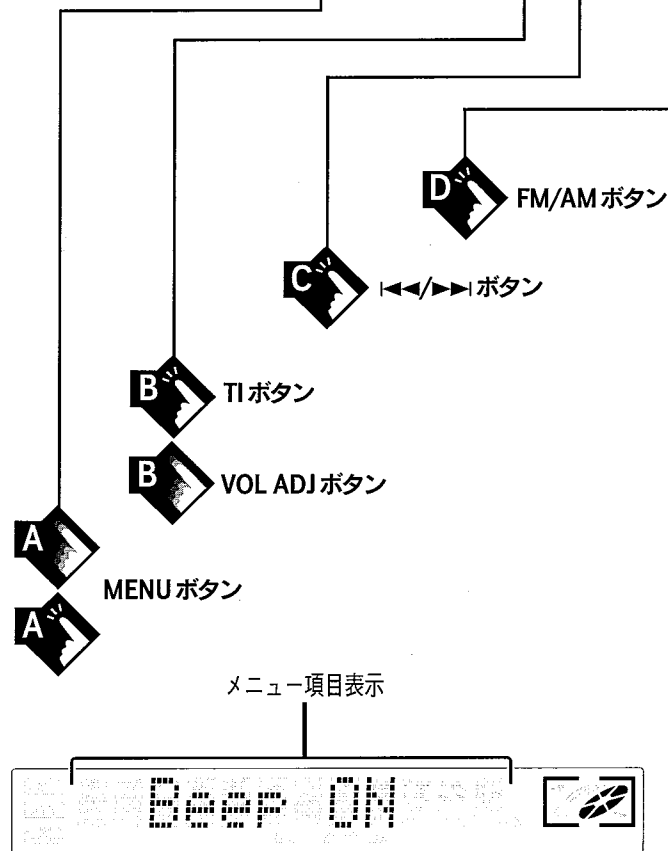
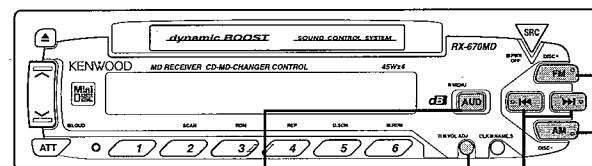
- A** 1. メニューモードに入る  
MENU ボタンを1秒以上押す。
- D** 2. メニュー項目を選ぶ  
FM ボタンまたはAM ボタンを押す。  
押すたびにメニュー項目が以下のように選択できます。

- Beep ON/OFF : ビープ音
- Clock Adjust : 時計調整
- Date Adjust : 日付調整
- Memo Mode : カレンダーメモ入力
- Contrast 0~10 : コントラスト調整
- Graphic ON/OFF : グラフィック設定
- dB set ON/OFF : dB選択機能設定
- Local.S ON/OFF : ローカル受信設定  
▼ (チューナーモード中に選択可能)
- Auto1/Auto2/Manual : チューニングモード設定  
▼ (チューナーモード中に選択可能)
- Auto-Memory : オートメモリー  
▼ (チューナーモード中に選択可能)
- MONO ON/OFF : モノラル受信  
▼ (チューナーモードでFM放送を受信中に選択可能)
- Scroll Manu/Auto : スクロールモード設定

- C** 3. 設定の変更・調整をする  
◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。

**A** 終了する  
MENU ボタンを押す。

**MEMO** ▶ メニューモードは本機の初期設定を変更・調整できるモードです。各メニュー項目の詳しい設定内容や手順は各モード別のページに説明がされています。



# ALL MODE 共通機能

## ビープ音

ボタンを押したときの操作確認音を ON/OFF する

- A** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- C** 2. FM ボタンまたは AM ボタンを  
“Beep ON” または “Beep OFF”  
と表示されるまで押す。
- B** 3. ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。  
押すたびに “Beep ON” 表示と  
“Beep OFF” 表示とが切り替わり  
ます。  
“Beep ON” 表示：ソース切り替え、  
1秒または2秒以上ボタンを押す操  
作をしたときにビープ音が鳴ります。

**A** 終了する  
MENU ボタンを押す。

## 時計調整

時刻を調整する

- A** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- C** 2. FM ボタンまたは AM ボタンを  
“Clock Adjust” と表示されるまで  
押す。
- B** 3. ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを2秒  
以上押す。  
時計調整モードに入り、時計表示  
が点滅します。
- C** 4. FM/AM ボタンと ◀▶ ボタンを  
押す。  
FM/AM ボタンで “時間” を調整で  
きます。  
▶▶ ボタンで “分” を調整でき  
ます。

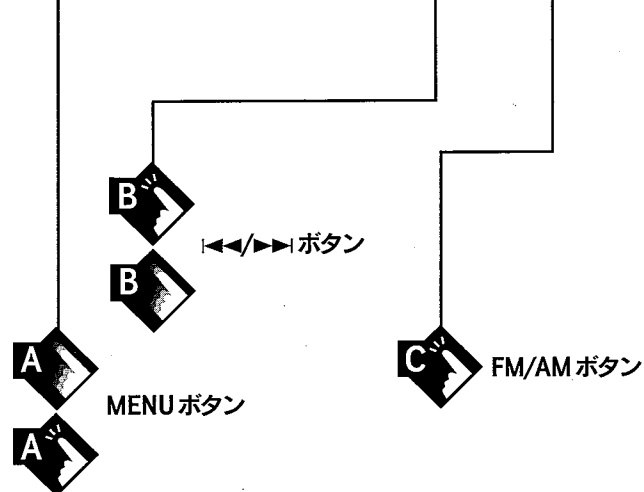
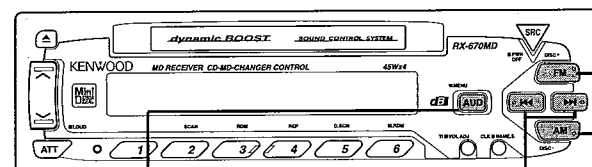
**A** 終了する  
MENU ボタンを押す。

## 日付設定

日付を入力する

- A** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- C** 2. FM ボタンまたは AM ボタンを  
“Date Adjust” と表示されるまで押  
す。
- B** 3. ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを2秒  
以上押す。  
日付調整モードに入り、日付表示  
が点滅します。
- C** 4. FM/AM ボタンと ◀▶ ボタンを  
押す。  
◀▶ ボタンで年、月、日を選  
びます。  
(選んだところが点滅します。)  
FM/AM ボタンで年(下2桁)、月、  
日を入力します。

**A** 終了する  
MENU ボタンを押す。



メニュー項目/時計/日付表示





# ALL MODE 共通機能

## カレンダーメモ

電源をONにしたときにカレンダーメモを表示する。

- A** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
  - E** 2. FM ボタンまたは AM ボタンを“Memo Mode”と表示されるまで押す。
  - D** 3. ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを2秒以上押す。  
メモ入力モードに入ります。
  - D** 4. ▶▶ ボタンを押します。
- 日付を入力する
- E** 5. FM/AM ボタンと◀◀/▶▶ ボタンを押す。  
◀◀/▶▶ ボタンで月/日を選びます。  
(選んだところが点滅します。)  
FM/AM ボタンで月/日を変更します。
- 03/15
- メモ入力欄にする
- D** 6. ▶▶ ボタンを押して、メモ入力欄を表示する  
入力できる位置のカーソルが点滅します。
- 入力する位置を選ぶ
- D** 7. ◀◀/▶▶ ボタンを押す  
▶▶ ボタンを押すたびにカーソルが右へ、◀◀ ボタンを押すたびにカーソルが左へ移動します。  
(選んだところが点滅します。)
- 文字の種類を選ぶ
- B** 8. TI ボタンを押す。  
押すたびに以下のように文字種が切り替わります。

- アルファベット大文字
- アルファベット小文字
- 数字/記号
- カタカナ

- E** 文字を選ぶ
9. FM/AM ボタンを押す。  
押すたびに文字が切り替わります。
- 10.手順6から9の操作を繰り返してメモを完成する。
- Happy\_\_\_\_\_

**MEMO** ▶ メモは32文字まで入力でき、30日分まで登録できます。  
▶ 登録したメモを削除したい場合はメモの日付を“00/00”にしてください。

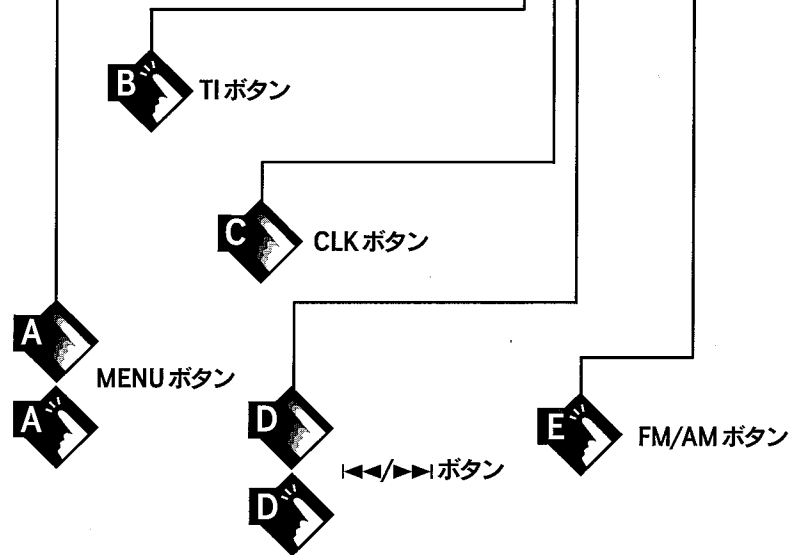
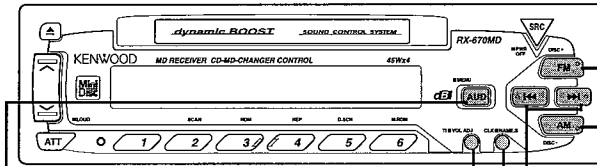
- A** ▶ 終了する  
MENU ボタンを押す。  
メモを登録した日付に本機の電源がONになるとメモが表示されます。
- D** ▶ 表示されたメモを消す  
CLK ボタン以外の任意のボタンを押す。

## カレンダーメモスクロール

カレンダーメモをスクロール表示する

- C** ▶ スクロールモードが“Scroll Auto”に設定されているとき  
カレンダーメモ表示中にCLK ボタンを1秒以上押す。  
カレンダーメモの最初の文字からスクロールを再開します。
- C** ▶ スクロールモードが“Scroll Manu”に設定されているとき  
カレンダーメモ表示中にCLK ボタンを1秒以上押す。  
カレンダーメモが1回スクロール表示します。

**MEMO** ▶ スクロールモードの設定は18ページをご覧ください。



カレンダーメモ表示



# ALL MODE 共通機能

## コントラスト調整

ディスプレイを見やすいように設定する

- A** MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- C** FM ボタンまたは AM ボタンを “Contrast 0 ~ 10” と表示されるまで押す。
- B** ◀▶ ボタンまたは ▶▶▶ ボタンを押す。  
▶▶▶ ボタン押すたびに調整値が上がりコントラストが高くなります。  
◀▶ ボタン押すたびに調整値が下がりコントラストが低くなります。  
0 から 10 の間で調整できます。

▶ 終了する  
MENU ボタンを押す。

## グラフィック設定

グラフィック表示を設定する

- A** MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- C** FM ボタンまたは AM ボタンを “Graphic ON” または “Graphic OFF” と表示されるまで押す。
- B** ◀▶ ボタンまたは ▶▶▶ ボタンを押す。  
押すたびに “Graphic ON” 表示と “Graphic OFF” 表示とが切り替わります。  
“Graphic OFF” 表示：グラフィック表示を停止します。

▶ 終了する  
MENU ボタンを押す。

## dB 選択機能設定

ダイナミックブースト機能をON/OFFする

- A** MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- C** FM ボタンまたは AM ボタンを “dB set ON” または “dB set OFF” と表示されるまで押す。
- B** ◀▶ ボタンまたは ▶▶▶ ボタンを押す。  
押すたびに “dB set ON” 表示と “dB set OFF” 表示とが切り替わります。  
“dB set OFF” 表示：ダイナミックブーストの選択やスピーカーマッチングの選択は表示しません。

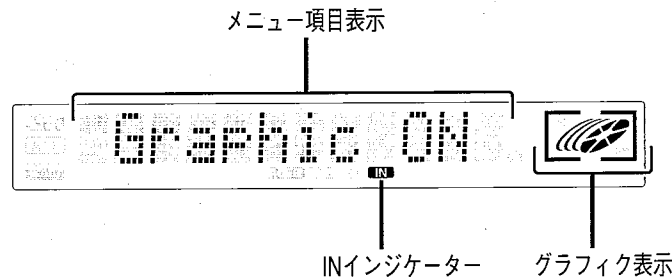
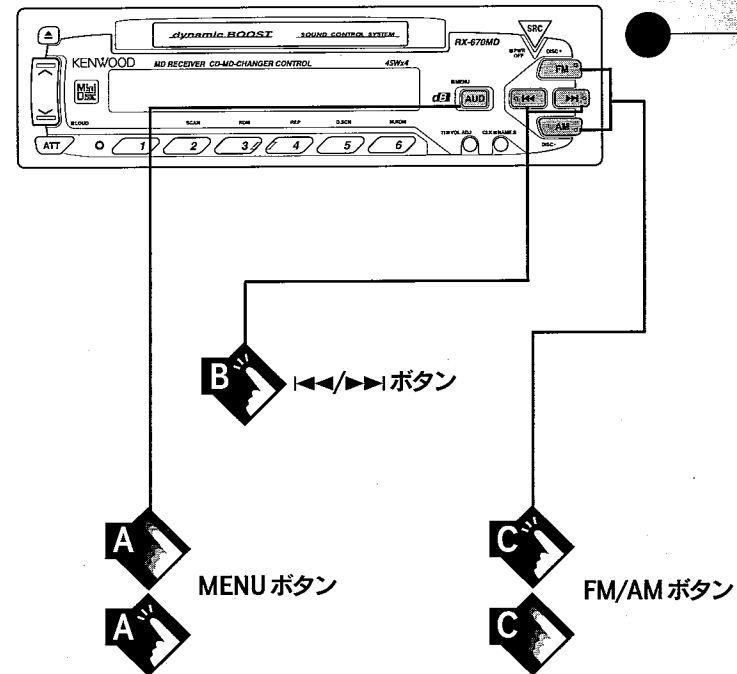
▶ 終了する  
MENU ボタンを押す。

## スクロールモード設定

MD や CD のタイトル、カレンダーメモのスクロール方法を設定する

- A** MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- C** FM ボタンまたは AM ボタンを “Scroll Auto” または “Scroll Manu” と表示されるまで押す。
- B** ◀▶ ボタンまたは ▶▶▶ ボタンを押す。  
押すたびに “Scroll Auto” 表示と “Scroll Manu” 表示とが切り替わります。  
“Scroll Auto” 表示：MD/CD タイトルやカレンダーメモを自動的にスクロール表示します。  
“Scroll Manu” 表示：MD/CD タイトルやカレンダーメモを必要などきに手動でスクロール表示できます。

▶ 終了する  
MENU ボタンを押す。



# MD/DISC CONTROL MODE

## ディスプレイ

本機でMDを再生する

- ▶ MDが入っていないとき  
MDをMDスロットに挿入します。  
MDを軽く押すと引き込まれて、演奏が始まります。

MEMO ▶ MDはシャッターが右になる方向で正しく挿入してください。

- ▶ MDが入っているとき  
(INインジケータ点灯時)  
SRCボタンを“MD”と表示されるまで押す。

## イジェクト

本機にセットされているMDを取り出す

- ▲ ボタンを押す。

## エクストラディスプレイ

接続したチェンジャー/プレーヤーでMD/CDを聴く

- SRCボタンを“CD”または“DISC”と表示されるまで押す。  
接続しているディスクチェンジャーまたはCDプレーヤーにセットされている、MDまたはCDの演奏が始まります。

MEMO ▶ ディスクチェンジャーを2台接続している場合は“DISC1”、“DISC2”と切り替わります。

## 早送り/早戻し

聴きたい演奏か所を選ぶ

- ◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを押し続ける。  
◀◀ ボタンを押し続けると手前へ早戻しし、▶▶ ボタンを押し続けると先へ早送りします。希望の所で指を離します。

## トラックサーチ

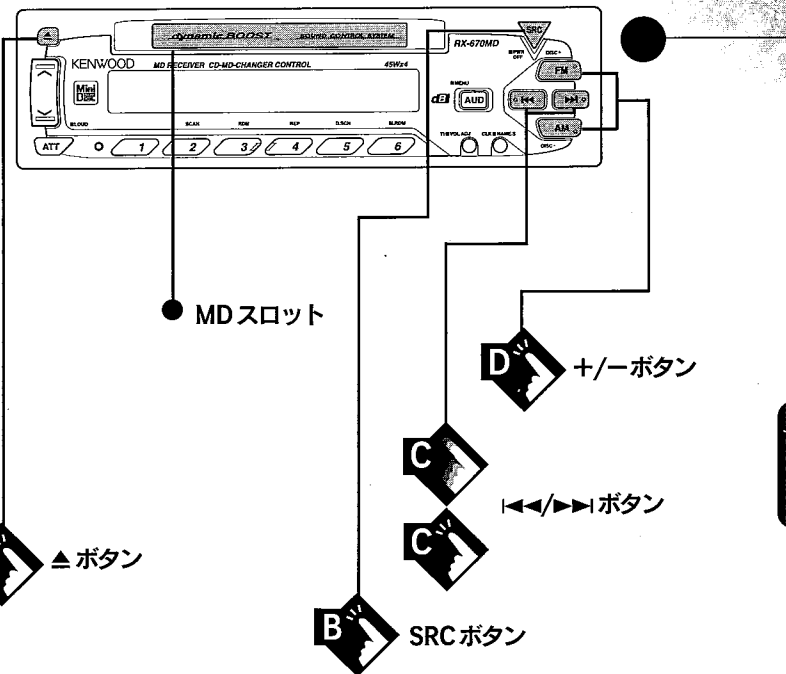
聴きたい曲を選ぶ

- ◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。  
◀◀ ボタンを押すと手前の曲になり、▶▶ ボタンを押すと先の曲になります。  
聴きたい曲のトラックナンバーが表示されるまで押します。

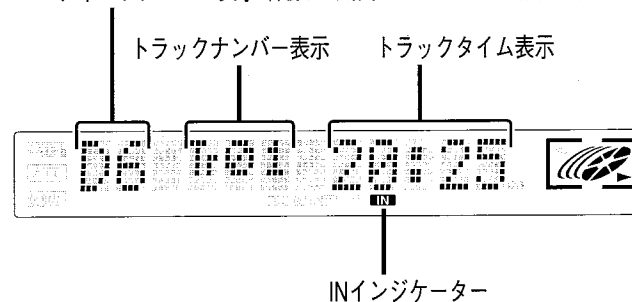
## ディスクサーチ

聴きたいディスクを選ぶ  
(ディスクチェンジャーの機能)

- + ボタンまたは- ボタンを押す。  
+ ボタンを押すと先のディスクになり、- ボタンを押すと手前のディスクになります。  
聴きたいディスクナンバーが表示されるまで押します。  
ディスクナンバー10を選択時は“0”と表示されます。



ディスクナンバー表示 (本機でMD演奏時: [MD], CDプレーヤー演奏時: [CD])



# MD/DISC CONTROL MODE

## リピートプレイ

同じ曲/同じディスクを繰り返し聴く  
(ディスクリピートはディスクチェンジャーの機能)



REP ボタンを押す。

押すことにリピートプレイモードが以下のように切り替わります。

**Repeat ON** : 今聴いている曲を  
または 繰り返し再生します。

**T-Repeat ON**

**D-Repeat ON**: 今聴いているディスクを  
繰り返し再生します。

**Repeat OFF**

トラックリピート中はトラックナンバーが点滅します。  
ディスクリピート中はディスクナンバーが点滅します。

## トラックスキャンプレイ

聴きたい曲を探す



1. トラックスキャンプレイを始める

**SCAN ボタン**を押す。

“Scan ON” または “T-Scan ON” と表示され、聴いているディスクの各曲の最初の部分を次々に10秒間ずつ再生します。

トラックスキャンプレイ中はトラックナンバーが点滅します。



2. 聴きたい曲の再生が始まったら

**SCAN ボタン**を押す。

トラックスキャンが解除され、通常のディスプレイになります。

## ディスクスキャンプレイ

聴きたいディスクを探す  
(ディスクチェンジャーの機能)



1. ディスクスキャンプレイを始める

**D.SCAN ボタン**を押す。

“D-Scan ON” と表示され、ディスクマガジンにセットされているディスクの最初の部分を次々に10秒間ずつ再生します。

ディスクスキャンプレイ中はディスクナンバーが点滅します。

2. 聴きたいディスクの再生が始まったら

**D.SCAN ボタン**を押す。

ディスクスキャンが解除され、通常のディスプレイになります。



## トラックランダムプレイ

ディスクから曲をランダムに選択して再生する



**RDM ボタン**を押す。

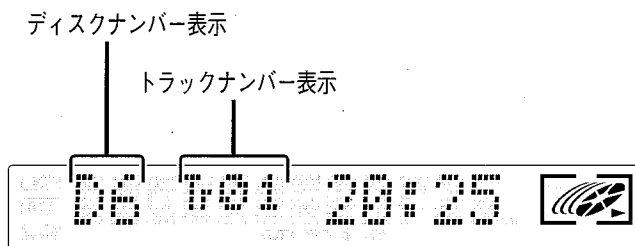
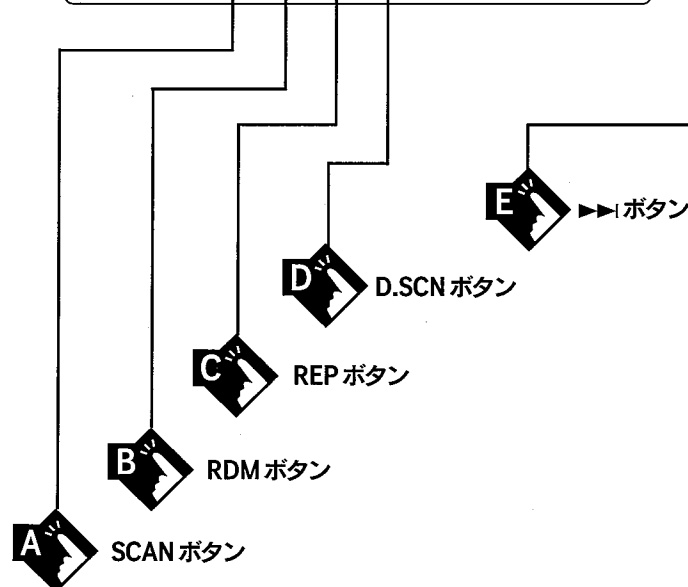
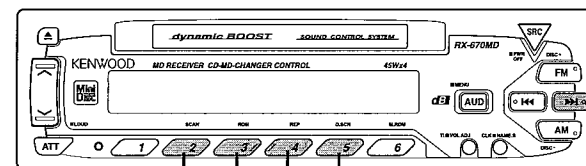
“Random ON” と表示され、トラックランダムプレイになります。  
トラックランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。



▶ ほかの曲を聴く  
▶▶ ボタンを押す。



▶ 解除する  
**RDM ボタン**を押す。



# MD/DISC CONTROL MODE

## マガジンランダムプレイ

マガジンにセットされているディスクから曲をランダムに選択して再生する (ディスクチェンジャーの機能)

**A** M.RDM ボタンを押す。  
 “M-Random ON” と表示され、マガジンランダムプレイになります。マガジンランダムプレイ中はディスクナンバーとトラックナンバーが点滅します。

**C** ▶ ほかの曲を聴く  
 ▶▶ ボタンを押す。

**A** ▶ 解除する  
 M.RDM ボタンを押す。

## ディスプレイ切り替え

表示される情報を切り替える

**B** CLK ボタンを押す。  
 押すたびに以下のように表示が切り替わります。

- ▶ トラックタイム
- ▶ ディスクネーム  
 (ディスクチェンジャー/CDプレーヤーのみ)
- ▶ ディスクタイトル
- ▶ トラックタイトル
- ▶ 時計
- ▶ 日付

MEMO ▶ 時計表示中は ● インジケーターが点灯します。

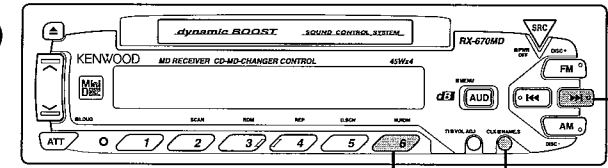
## タイトルスクロール

MDやCDタイトルをスクロール表示する

**B** ▶ スクロールモードが “Scroll Auto” に設定されているとき  
 ディスク/トラックタイトル表示中に CLK ボタンを1秒以上押す。  
 MDやCDタイトルの最初の文字からスクロールを再開します。

**B** ▶ スクロールモードが “Scroll Manu” に設定されているとき  
 ディスク/トラックタイトル表示中に CLK ボタンを1秒以上押す。  
 MDやCDタイトルが1回スクロール表示します。

MEMO ▶ スクロールモードの設定は20ページをご覧ください。



**A** M.RDM ボタン

**C** ▶▶ ボタン

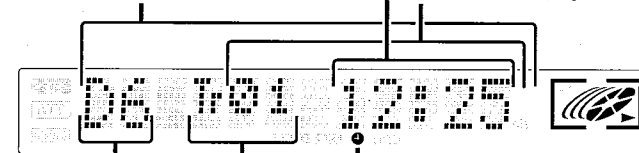
**B** CLK ボタン

**B**

トラックタイム/日付/時計表示.

タイトル表示

ディスクネーム表示



トラックナンバー表示 ● インジケーター

ディスクナンバー表示.

# TUNER MODE

## チューニングモード

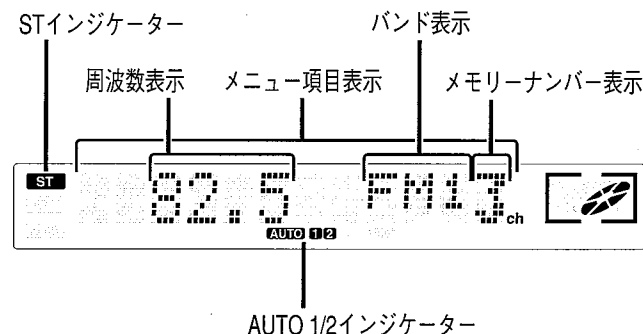
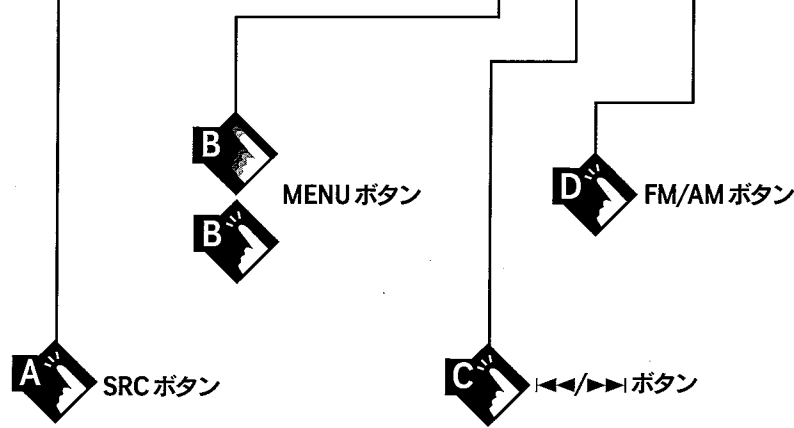
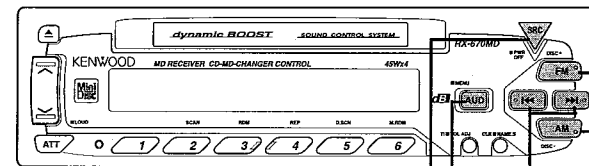
選局方法を切り替える

- B** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- D** 2. FM ボタンまたはAM ボタンを押す。  
“Auto 1”、“Auto 2”、または  
“Manual” と表示されるまで押す。
- C** 3. ◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。  
押すたびに“Auto 1”、“Auto 2”、  
“Manual” の順に表示が切り替わります。  
“Auto 1” 表示：オートチューニング1  
モードになっています。  
(AUTO 1インジケータ点灯)  
“Auto 2” 表示：オートチューニング2  
モードになっています。  
(AUTO 2インジケータ点灯)  
“Manual” 表示：マニュアルチューニング  
モードになっています。
- B** ▶ 終了する  
MENU ボタンを押す。

## チューニング

AM/FM 放送を聴く

- A** ▶ チューナーに切り替える  
SRC ボタンを“TUNER” と表示が  
されるまで押す。
  - D** ▶ バンドを切り替える  
AM ボタンまたはFM ボタンを押す。  
AM ボタンを押すとAMバンドに切り  
替わります。FM ボタンを押すた  
びにFM1バンド、FM2バンド、  
FM3バンドの順に切り替わります。  
バンドインジケータに受信してい  
るバンドが表示されます。
  - C** ▶ 放送局を替える  
◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。  
オートチューニング1モード時：  
◀▶ ボタンを押すと低い周波数の放  
送局を探し、▶▶ ボタンを押すと高  
い周波数の放送局を探します。  
オートチューニング2モード時：  
◀▶ ボタンを押すと小さいメモリー  
番号の放送局を受信し、▶▶ ボタ  
ンを押すと大きいメモリー番号の放  
送局を受信します。  
マニュアルチューニングモード時：  
◀▶ ボタンを押すと周波数が1ステ  
ップ下がり、▶▶ ボタンを押すと周  
波数が1ステップ上がります。
- FM ステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。



# TUNER MODE

## マニュアルメモリー

放送局をメモリーする

- A** 周波数をメモリーする  
メモリーボタン1～6のいずれかを2秒以上押す。  
受信中の放送局がメモリーされます。メモリーが完了すると押しているメモリーNo.表示が1回点滅します。  
AM、FM1、FM2、およびFM3の各バンドで、1つのメモリーボタンに1つの周波数がメモリーできます。

- A** メモリーした放送局を呼び出す  
メモリーボタン1～6のいずれかを押す。  
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

## オートメモリー

放送局を自動的に探してメモリーする

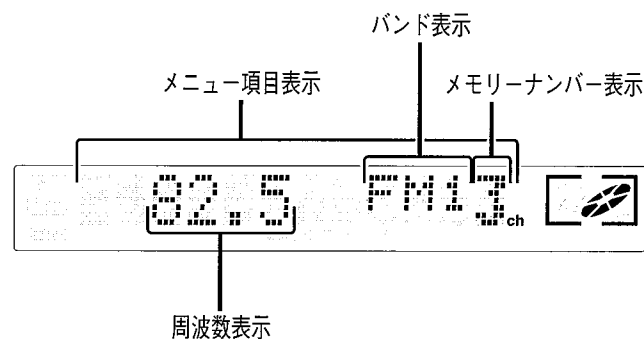
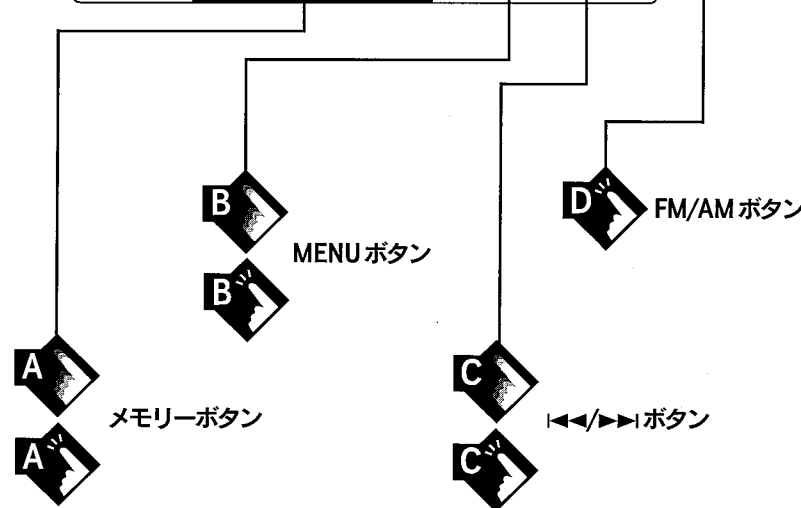
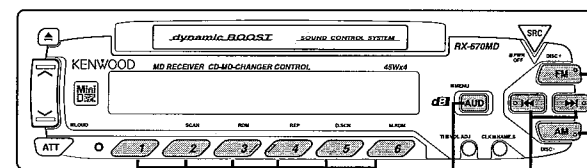
- B** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- D** 2. FM ボタンまたはAM ボタンを“Auto-Memory”と表示されるまで押す。
- C** 3. ◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを2秒以上押す。  
オートメモリーが始まり、現在のバンドに6局メモリーするか受信可能な放送局をすべてメモリーするとオートメモリーは終了します。
- A** メモリーされた放送局を呼び出す  
メモリーボタン1～6のいずれかを押す。  
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

## モノラル受信設定

FM放送をモノラル受信する

- B** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- D** 2. FM ボタンまたはAM ボタンを“MONO ON”または“MONO OFF”と表示されるまで押す。
- C** 3. ◀▶ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。  
押すたびに“MONO ON”表示と“MONO OFF”表示とが切り替わります。設定したい表示にします。“MONO ON”表示：モノラル受信がONになっています。
- B** 終了する  
MENU ボタンを押す。

**MEMO** ▶ “MONO ON”に設定すると、ステレオ放送の放送局を受信中でもSTインジケータは点灯しません。



# TUNER MODE

## ローカル受信設定

オートチューニング1/オートメモリー時に受信状態の良い放送局だけを受信する

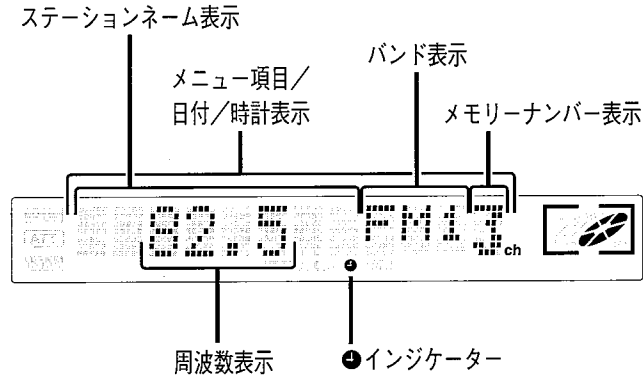
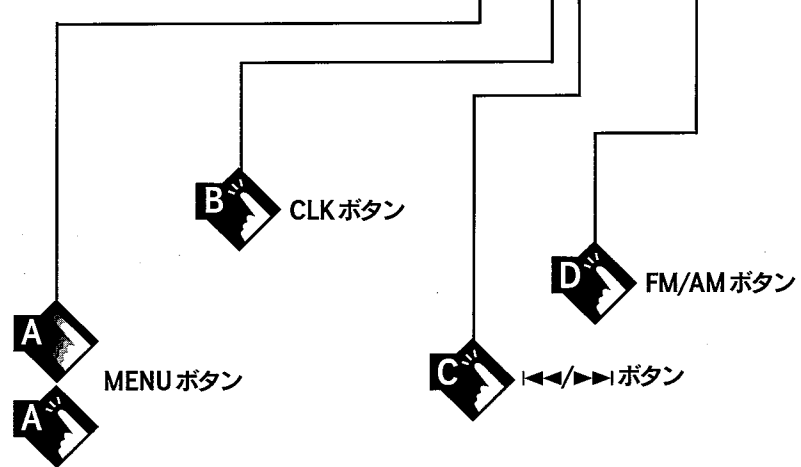
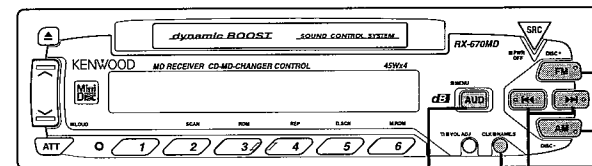
- A** 1. MENU ボタンを1秒以上押す。  
メニューモードに入ります。
- D** 2. FM ボタンまたは AM ボタンを  
“Local.S ON” または “Local.S OFF” と表示されるまで押す。
- C** 3. ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。  
押すたびに “Local.S ON” 表示と  
“Local.S OFF” 表示とが切り替わります。設定したい表示にします。  
“Local.S ON” 表示：ローカル受信がONになっています。  
オートチューニング1 モード中とオートメモリー時は、受信状態の良い放送局だけを探します。
- A** ▶ 終了する  
MENU ボタンを押す。

## ディスプレイ切り替え

表示される情報を切り替える

- B** CLK ボタンを押す。  
押すごとに以下のように表示が切り替わります。
- 周波数  
 ↓  
 ステーションネーム  
(ステーションネーム設定をしてある放送局を受信中のみ選択可能)  
 ↓  
 時計  
 ↓  
 日付

MEMO ▶ 時計表示中は ● インジケータが点灯します。





# NAME SET

## ネームセット

放送局/ディスクチェンジャー、CDプレーヤーのディスクに名前を付けたり、“AUX”の表示を変更する

- ▶ 放送局やディスクに名前を付ける
- ▶ 1.名前を付けたい放送局・ディスクを受信・再生する。
- ▶ “AUX”の表示を変更する
- ▶ 1.SRCボタンを押して“AUX”を選ぶ。

**MEMO** ▶ ディスクに名前を付けるときは、表示をディスクタイトルまたはトラックタイトル以外にしてください。

- ▶ ディスクスキャンプレイとマガジンランダムプレイは解除してください。
- ▶ トラフィックインフォメーションモード中に受信している放送局には名前を付けることはできません。チューナーモードで受信をしてください。
- ▶ 本機やMDチェンジャー“KMD-C30”のディスクにはネームを登録できません。

**B** 2. NAME.Sボタンを2秒以上押す。  
ネームセットモードに入り、“NAME SET”と表示されます。

**C** カーソルの位置を移動する  
3. ◀または▶ボタンを押す。

**A** 文字の種類を選ぶ  
4. TIボタンを押す。  
押すたびに以下のように文字種が切り替わります。

- ↓ アルファベット大文字
- ↓ アルファベット小文字
- ↓ 数字/記号
- ↓ カタカナ

**D** 文字を選ぶ  
5. FM/AMボタンを押す。

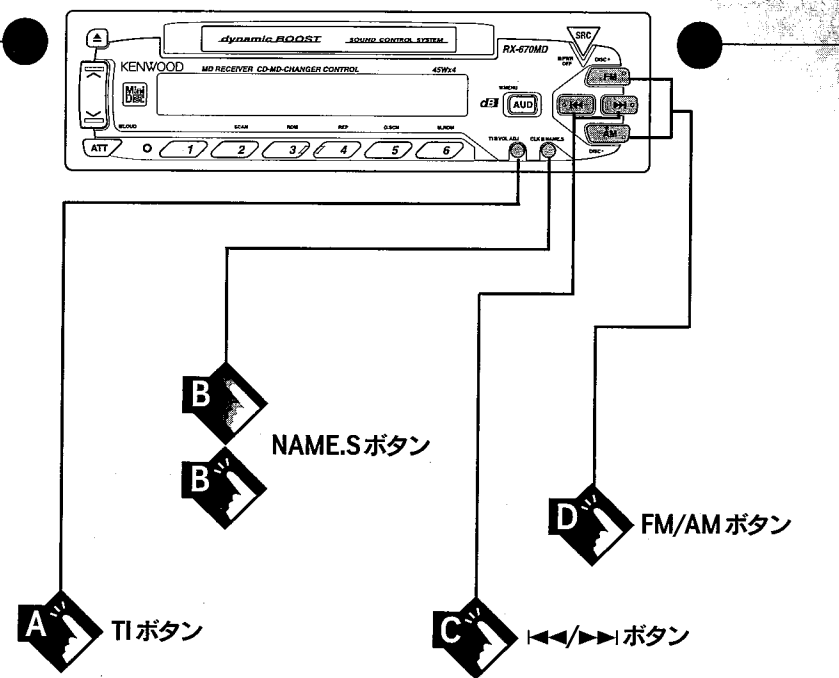
6. 手順3から5の操作を繰り返して名前を完成する。

**MEMO** ▶ 登録できる文字数は8桁までです。

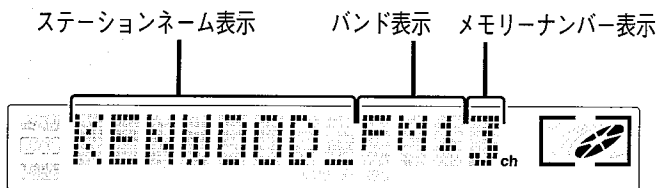
- ▶ 放送局に名前が付けられる局数は、FMバンドで32局、AMバンドで16局です。
- ▶ 名前が付けられるディスクの枚数は、使用するディスクチェンジャー、CDプレーヤーによって異なります。ディスクチェンジャー、CDプレーヤーに付属の取扱説明書を参照してください。

**B** ネームセットモードを終了する  
7. NAME.Sボタンを押す。  
または、10秒間操作をやめる。  
ネームセットモードを終了した時点で表示されている名前が、周波数にはステーションネームとして、ディスクにはディスクネームとして登録されます。  
また、“AUX”の表示が変更されます。

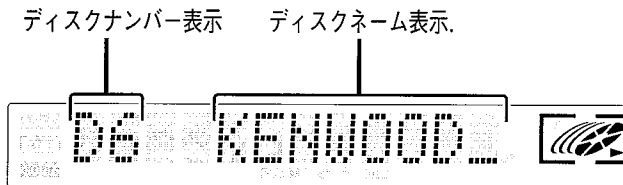
**MEMO** ▶ 名前を変える  
手順2の後、現在付いている名前が表示されます。この名前を手順3から5の操作で変更することにより変更ができます。



### ●ステーションネームセット時の表示例



### ●ディスクネームセット時の表示例



# 取り付け上のご注意

## 警告



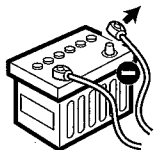
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



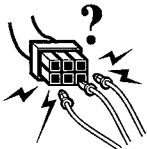
実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



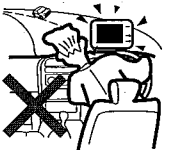
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



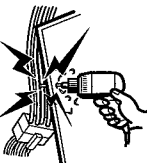
実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



実施

事故防止のため、ネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

# 接続・取り付けかた

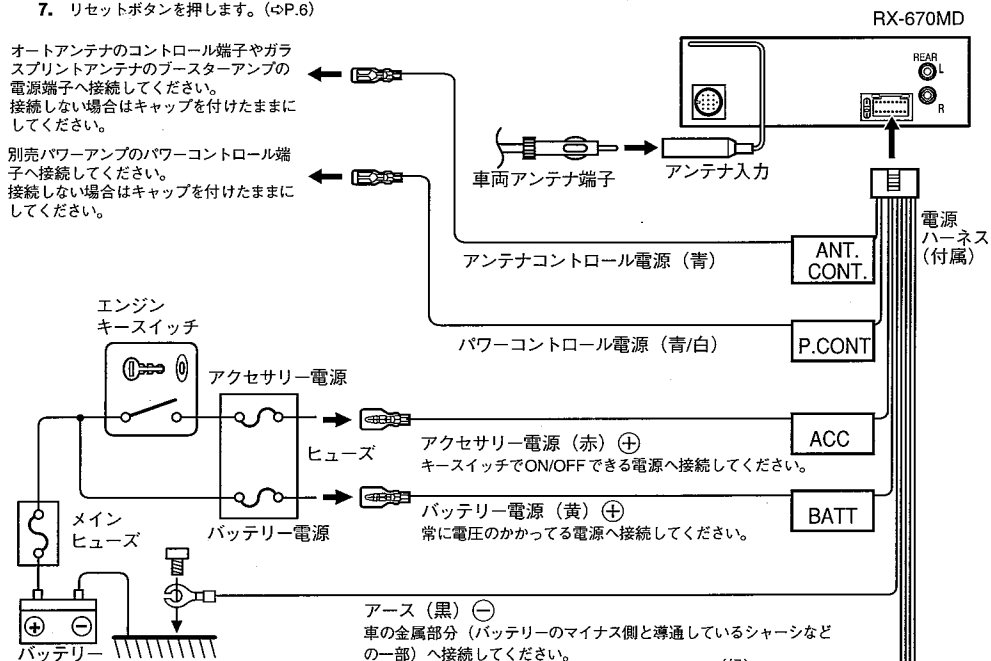
## ●接続

### 取り付け手順

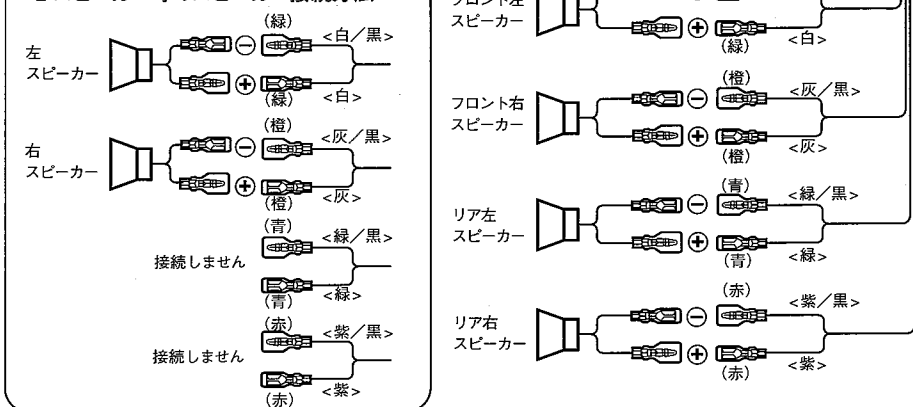
1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスのアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)を順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをRX-670MDに接続します。
6. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. リセットボタンを押します。(→P.6)

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。



### 2スピーカー時のスピーカー接続方法

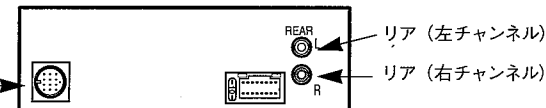


## ●CDプレーヤー/ディスクチェンジャー端子およびプリアウト端子の接続

プリアウト端子は別売品のRCAケーブルを使用して、別売品のパワーアンプに接続します。

詳しい接続のしかたはCDプレーヤー、またはディスクチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

CDプレーヤー/ディスクチェンジャー入力



プリアウト端子からは、操作確認音(ピープ音)は出力されません。

## ●本機の取り付け

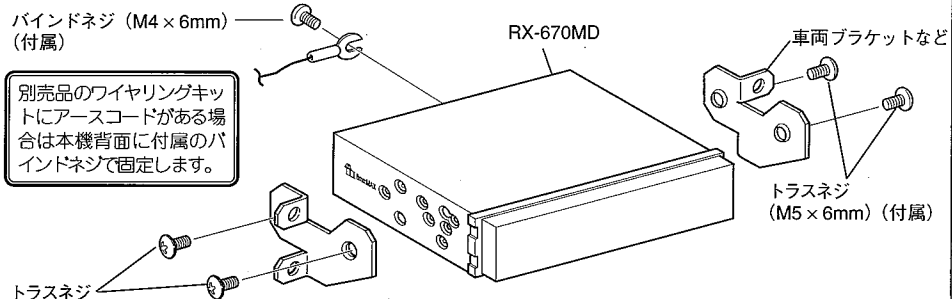
付属のトラスネジ(M5×6mm)4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

### 付属ネジ一覧

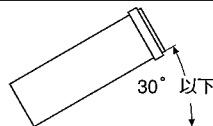
- トラスネジ (M5×6mm) ..... 4
- バンドネジ (M4×6mm) ..... 1



**注意** 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。



**注意** ●本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。  
●操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。

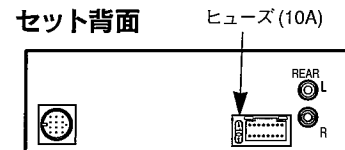


## ●ヒューズ交換のしかた



ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

### セット背面



# 故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスなどにより、故障と思われることがあります。  
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒューズが切れている。</li> <li>・入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コード類がショートしていないことを確認 後、所定容量のヒューズと交換してくだ さい。</li> <li>・"接続・取り付けかた(⇨P.36)"を見て正 しく接続してください。</li> </ul>
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アッテネーターがONになっている。</li> <li>・音量が最小になっている。</li> <li>・フェダー、バランスが片側に片寄っ た設定になっている。</li> <li>・V OFFSET レベルが低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アッテネーターを解除してください。</li> <li>・音量を適度に上げてください。</li> <li>・フェダー、バランスを調整してください。</li> <li>・V OFFSET を調整してください。</li> </ul>
音質が悪い (音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーカーコードが間違っ て接続されている。</li> <li>・音量が大きすぎる。</li> <li>・スピーカーコードが車両側のネジに かみ込んでいる。</li> <li>・スピーカー配線が間違っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・"接続・取り付けかた(⇨P.36)"を見て正 しく接続してください。</li> <li>・適正音量で使用してください。</li> <li>・スピーカー配線をチェックしてください。</li> <li>・スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカ ー端子に接続してください。</li> </ul>
操作スイッチを押しても 動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 (⇨P.6)
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車のアンテナが伸びていない。</li> <li>・アンテナコントロール電源が接続さ れていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンテナを十分伸ばしてください。</li> <li>・"接続・取り付けかた(⇨P.36)"を見てアン テナコントロール電源を接続してください。</li> </ul>
MDが入らない	すでにMDが入っている。	すでに入っているMDを取り出してから入れ てください。
MDがローディングされな い	MDの入れる方向が違う、または裏返 しになっている。	MDを正しい方向に入れ直してください。
MDがローディングされて も、出てくる	MDに何も記録されていない。	記録/録音されたMDに入れ替えてください。
振動により音が飛んでし まう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り付け角度が30°を越えている。</li> <li>・取り付けが不安定になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30°以下の角度に調整してください。</li> <li>・しっかりと固定してください。</li> <li>・停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、 MDの問題です。</li> </ul>
音質が悪い (再生中ノイズが出る)	MDに傷や汚れなどがついている。	他のMDを再生して問題がなければMD自 身の音質です。

こんなとき

どうして

こうします


選曲動作をしても目的の曲 にならない。	トラックランダムプレイがオンに なっている。	トラックランダムプレイをオフしてくださ い。(⇨P.22)
勝手にリピート、スキャン、 ランダム機能が動作する	機能をONにすると、他ソース切 り替えた場合や電源をOFFにし ても操作を記憶しています。	ONになっている機能をOFFしてくださ い。
ディスクタイトル、トラック タイトル表示にするとNO TITLEと表示される。	再生中のMDにタイトルが記録さ れていない。	タイトルが記録されているMDで表示され ます。
ディスクネームモードになら ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクネーム表示になっ ていない。</li> <li>・本機でMDを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクネーム表示にしてくださ い。</li> <li>・ディスクネームの登録はディスクチェン ジャー/CDプレーヤーを使用中に行っ てください。(ただしKMD-C30にはネーム セット機能は使用できません)</li> </ul>

# 故障かな?と思ったら

●ディスクチェンジャーまたはCDプレーヤー（別売品）を接続しているとき

こんなとき	どうして	こうします
ディスクチェンジャーコントロールモードにならない	本機のチェンジャー入力が接続されていない。	本機のチェンジャー入力を接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(⇒P.6)
ディスクの演奏が始まらない	電源がオンになっていない。	電源をオンにした後、SRCボタンを押してディスクコントロールモードにしてください。
指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクが異常に汚れている。</li> <li>ディスクが裏返しになっている。</li> <li>ディスクが2枚同じ場所に入っている。</li> <li>ディスクの入れた場所と指定No.が違う。</li> <li>ディスクに大きな傷がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクのクリーニングをしてください。</li> <li>マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。</li> <li>マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。</li> <li>マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。</li> <li>他のディスクを使用してください。</li> </ul>
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が最小になっている。</li> <li>アッテネーターがオンになっている。</li> <li>マイコンが正常に動作していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量を適度上げてください。</li> <li>アッテネーターを解除してください。</li> <li>本機のリセットボタンを押してください。(⇒P.6)</li> </ul>
選曲動作をしても目的の曲にならない	トラックまたはマガジンランダムプレイモードになっている。	トラックまたはマガジンランダムプレイモードを解除してください。(⇒P.22/24)
勝手にリピート、スキャン、ランダム機能が動作する	機能をONにすると、他ソース切り替えた場合や電源をOFFにしても操作を記憶しています。	ONになっている機能をOFFにしてください。
付けたディスクネームが違うディスクを再生時に表示される。	名前を付けたディスクと同じトラック数、総録音時間のため識別できない。	ディスクネームの表示は総録音時間とトラック数で識別しています。同じ総録音時間とトラック数のディスクは識別できません。
ディスクネーム表示にするとNO NAMEと表示される。	再生中のディスクにディスクネームを登録していない。	ディスクネームを登録してください。
ディスクタイトル、トラックタイトル表示にするとNO TEXTと表示される。	再生中のCDがCD TEXT対応ではない。	CD TEXT対応のCDで表示されます。

以下の表示でシステムの状態をお知らせします。

- EJECT** : ● ディスクチェンジャーにマガジンが入っていない、またはマガジンが完全に入っていない。  
● CDプレーヤーにディスクが入っていない。  
など
- NO DISC** : ディスクチェンジャーのマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- E-04** : ● ディスクが異常に汚れている。  
● ディスクが裏返しになっている。  
● ディスクにキズが多く付いている。
- BLANK** : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も録音されていない。
- NO TRACK** : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も記録されていない。
- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。  
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-77”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- E-99** : ● ディスクマガジンに異常がある。  
● 何らかの原因で正常に動作していない。  
⇒ ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- HOLD** : 温度が60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。  
⇒ 取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。
-  : MDプレーヤー部が正常に動作していない。  
⇒ MDを入れなおしてください。MDが取り出せない、またはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

# 保証とアフターサービス よくお読みください

## ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## ●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

## ●保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。  
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

## ●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、以下の料金が必要です。)

- 技術料**: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代**: 修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

受信周波数範囲	76.0 MHz~90.0 MHz
チャンネルスペース	100 kHz
実用感度 (SN比: 30 dB)	9.3 dBf (0.8 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
S/N比: 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
周波数特性 ( $\pm 3$ dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比 (モノラル)	70 dB
選択度	$\geq 80$ dB ( $\pm 400$ kHz)
ステレオセパレーション (1 kHz)	40 dB

## AMチューナー部

受信周波数範囲	522 kHz~1629 kHz
チャンネルスペース	9 kHz
感度	28 dB $\mu$ (25 $\mu$ V)

## MDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード, $\lambda=760\sim 780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
周波数特性	20 Hz~20 kHz ( $\pm 2$ dB)
高周波歪率	0.03% (1 kHz)
S/N比 (dB)	90 dB ( $\mu$ 1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
チャンネルセパレーション	85 dB
回転数	400~900 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下

## オーディオ部

最大出力	45 W $\times$ 4
定格出力 (4 $\Omega$ , 1 kHz, 10%THD)	28 W $\times$ 4
プリアウトレベル (CD/CDチェンジャー)	1800 mV/10 k $\Omega$ (MD/CD時)
プリアウトインピーダンス	$\leq 600 \Omega$
音質調整	バス (100 Hz)
トレブル (10 kHz)	$\pm 10$ dB

## 電源部

電源電圧 (アース)	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10.0 A

## 寸法・質量

埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	178 $\times$ 50 $\times$ 160 mm
重量	1.2 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になることがあります。